

施 策：	27	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070102-06-414
基本事業：	01	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の成果指標		道路維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 道路橋改修進捗率	担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
道路橋			法定の定期点検を実施し、健全度評価を行う 健全度評価と、社会的影響度等により、橋梁長寿命化修繕計画を作成し、 計画的に補修を行う						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			適正な維持管理により施設の長寿命化を図る						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
当年度補修対象橋梁実施割合	%	100	100	100	100			100	
5. コスト									
事業費	計	千円	18,478	11,786	30,585	34,358			
	国	千円	6,506	2,750	3,795	6,325			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	14,016			
	一般	千円	11,972	9,036	26,790	14,017			
正職員人工数	人工	1	0.7	0.7					
正職員人件費	千円	7,728	5,471	5,616					
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	26,206	17,257	36,201	34,358				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	高齢化が進んでいる橋梁は多数あるため、点検に基づき、劣化の程度や破損時の社会的影響度を精査し実施していきたい。								
どちらかといえばあがっている	令和5年度は、1件の橋梁点検を実施した。								
あがっていない (停滞・低下)									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持 / 事業終了の場合は記入する必要なし）									
位置や、使用状況により、撤去し集約することも検討していく。  									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄								
現在管理している橋梁は、高度経済成長期以降に集中して建設されており、今後急速に高齢化することになる。 また、永久構造物ではないため、補修等を必要とする橋梁の増加が予想される	着実な実行を図る必要がある								